# 業種横断的な物流標準化の取組ー官民物流標準化懇談会①

出典:「第1回官民物流標準化懇談会」資料より国土交通省更新

#### 総合物流施策大綱 物流にかかる規格の標準化 トラックドライバーの 働き方改革 官民物流標準化懇談会 ◆ホワイト物流推進運動 ◆標準貨物自動車運送約款等 議題 :ハード・ソフト含むすべての物流各項目(パレット・外装サイズ、外装 の改正 表示、納品伝票、コード体系・物流用語等)の規格にかかる標準化 業種分野ごとの **進め方:**特定の標準化項目(例:パレット規格等)を取り上げて、順次、実 生産性向上及びトラック 行に結び付く標準化の方向性(標準規格/民間・行政での具体的 日本物流団体 ドライバーの労働時間 連合会 な推進手法等)につき議論・検討。詳細の検討にあたっては懇談会 改善に関する懇談会 (年1~2回)の下に分科会を設置する等で対応。 ・受発注条件の見直し 経営効率化 構成員:行政、物流団体、主要物流事業者、学識経験者、経済団体、 荷待ち時間の削減 委員会 荷主系団体等 ・荷役時間の削減 検討結果の業界への共有 ・附帯作業時間の削減等 検討結果の業界への共有 / 物流標準化の 先例としての知見の提供 推進に向けた 先例としての知見の提供 加丁食品物流における 調査小委員会 業種分野ごとの 更なる生産性向 生産性向上及びトラック 【ソフトの標準化】 物流標準化の取組 ドライバーの労働時間 ◆SIPスマート物流 改善に関する懇談会 サービス ・ハード・ソフト含むすべての物流各項目 (パレット・外装サイズ、外装表示、納品伝票、 物流・商流データ基 コード体系・物流用語等) の規格にかかる標準化 盤を活用したデータ連 洒•飲料 携・標準化による物流 加工食品分野における物流標準化 効率化 商慣習等見直し アクションプラン(フォローアップ会) 建設資材物流に による標準化推進 知見の提供 おける・・・・懇談会 青果物分野における物流標準化の取組 (青果物流通標準化検討会) 紙・パルプ物流に 紙加工品分野における物流標準化の取組 おける・・・懇談会 (紙加工品(衛生用品分野)物流研究会)

高度物流人材の育成・確保

自動化・機械化の取組の推進

. . .

## 業種横断的な物流標準化の取組ー官民物流標準化懇談会②

○ 第1回懇談会以降、パレットの標準化について分科会で議論を進め、令和4年6月、これからパレット化を行う事業者に対して**T11サイズを推奨**することなどを盛り込んだ**中間とりまとめを公表**。

#### パレット標準化推進分科会 中間取りまとめ(抜粋)

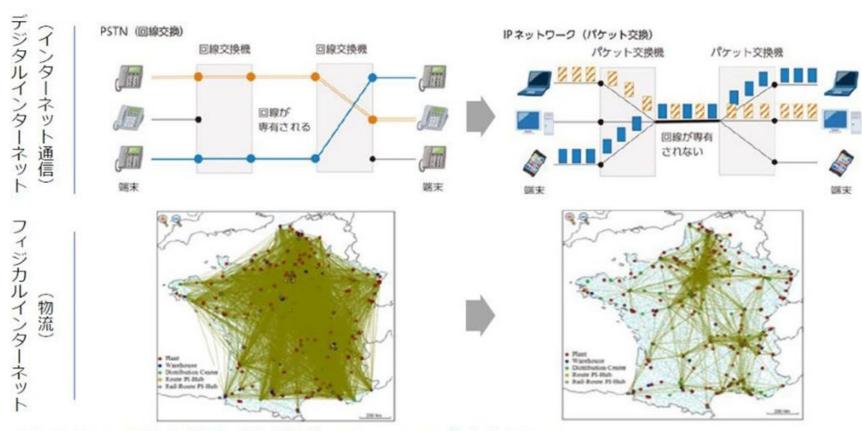
(パレット標準化の効果)

- ① 荷役の機械化によって<mark>手荷役解消と労働時間短縮</mark>に資するとともに、女性や若者、高齢 者等の<mark>多様な人材の確保</mark>を可能にするなど、物流機能を維持し、効率化するため極めて重 要な手段の一つ
- ② 発荷主においては、共同化による積載効率の維持や向上、パレットと商品情報を紐付けることでのトレーサビリティ担保等にも活用することが考えられ、また、着荷主においても、荷受け作業時間の短縮(事前出荷情報(ASN)の導入による検品レス等を含む)、物流施設のDX促進といった独自の効果が考えられる

(これからパレット化を行う事業者に推奨するパレット規格)

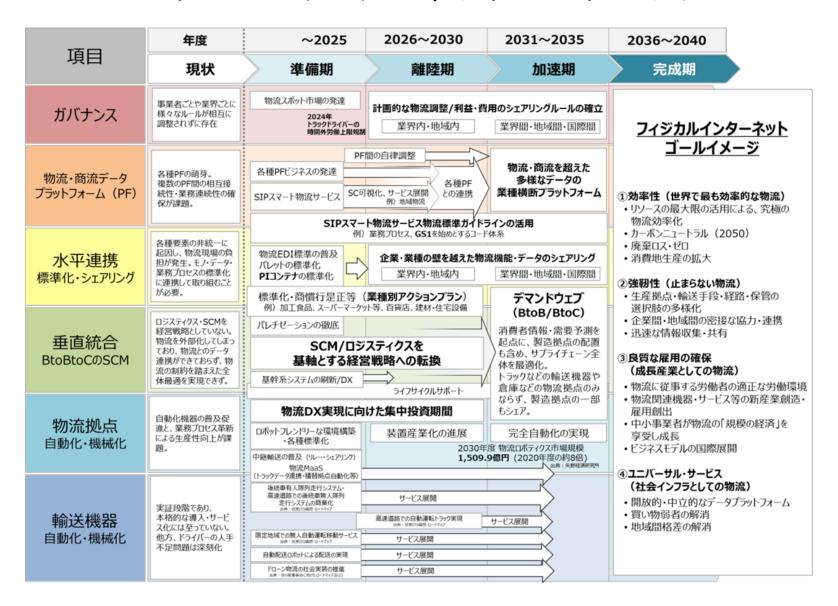
- ① これからパレット化を図る事業者において、当該事業者が複数の選択肢が取り得る場合には、現在日本国内において最も広く普及している平面サイズ1100 mm×1100 mmのパレットを推奨
- ② 既に特定の事業者や業種分野の中では、長年にわたって物流効率化のための規格や運用の標準化の努力が薦められている場合もある。また、国内物流だけでなく海外との商取引を前提に、海外での標準化状況等も考慮しつつ各種の施設設備を整備する必要性が高い事業者や業種分野も存在すると考えられる。更に、商品・製品の特性や業種分野内の慣習等を踏まえた場合、合理的な企画が様々に異なることも有り得る。そのため、上記①の推奨規格を採用することが困難な場合や、物流効率化の観点からも推奨規格とは異なる規格を採用することがより合理的な場合もあると考えられる

## フィジカルインターネットのコンセプト



出所:総務省 (2019) 「平成の情報化に関する調査研究」、IPIC 2018 Eric Ballotプレゼン資料より

#### フィジカルインターネットロードマップ



#### フィジカルインターネットが実現する社会





- ●物流コストインフレ
- ●物流供給不足36%(2030)
- ●トラックの積載効率低下
- ●気候変動





①効率性 (世界で最も効率的な物流)

- ▶ リソースの最大限の活用による、 究極の物流効率化
- ▶ カーボンニュートラル (2050)
- ▶ 廃棄□ス・ゼロ
- ▶ 消費地生産の拡大

#### ②強靱性 (止まらない物流)

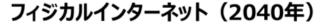
- ▶ 生産拠点・輸送手段・経路・保管の 選択肢の多様化
- ▶ 企業間・地域間の密接な協力・連携
- > 迅速な情報収集・共有



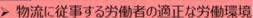
●自然災害の頻発による 途絶のリスク増大

●一極集中のリスク

現状



「時間」「距離」「費用」「環境」の制約から、 個人・企業・地域の活力と創造性を解放し、 価値を創出するイノベーティブな社会を実現



- ▶ 物流関連機器・サービス等の新産業創造・ 雇用創出
- ▶ 中小事業者が「規模の経済」を享受し 成長
- ビジネスモデルの国際展開

③良質な雇用の確保 (成長産業としての物流)



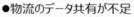
●ドライバーの劣悪な労働環境 ●企業の物流戦略の欠如

現状

- ▶ 開放的・中立的な データプラットフォーム
- ▶ 買い物弱者の解消
- ▶ 地域間格差の解消

**④ユニバーサル・サービス** (社会インフラとしての物流)





物流に関する地域の課題や 高齢者等のニーズに対応 できない

